

第1 中期計画の推進状況

2011年1月の「明日の京都」の策定以降、同年3月の東日本大震災や3年連続の集中豪雨等風水害の発生、少子化問題の深刻化等本格的な人口減少社会への移行など、計画策定時の想定を遙かに超える状況の変化に直面してきた。

こうした社会の変化を踏まえ、2014年12月に「安心」と「成長」の2つの視点を重視し、中期計画の改定を行った。

中期計画では、「府民安心の再構築」、「地域共生の実現」、「京都力の発揮」の3つの基本方向のもとに17の分野を設定し、それぞれの現状・課題を分析するとともに、京都府の使命を定義した上で府民起点に立った基本目標を掲げ、この達成をめざして体系的に施策・事業を展開していくこととしている。

本節では、2015年4月からスタートした新たな中期計画に関連する指標の進捗状況を分析した上で、ベンチマークからみた主な課題と、計画の体系に沿った分野ごとの推進状況をとりまとめる。

1 中期計画関連指標の動き

中期計画に掲げた各指標の「数値目標」は、別途目標年次を定めるものを除き、2019年3月までの達成をめざすものであり、目標年次に応じた年度毎の参考年間目標を設けることで、各年度の実績が最終的な数値目標の達成に向けて順調に推移しているかどうかを確認している。

各分野の指標について、数値目標及び参考年間目標の進捗が低調、あるいは後退している分野は、それぞれの要因を分析し、課題を明らかにした上で、進捗率を向上させる取組が重要となる。

(1) 数値目標の達成に向けて順調に進捗する指標

数値目標の達成に向けて順調に進捗する指標※ 54%

※参考年間目標達成指標割合

今回の調査時点で、参考年間目標を達成した指標は、2019年3月までに達成をめざす最終的な数値目標の達成に向けて想定どおり又は想定以上のスピードで取組が順調に進捗していることを表し、達成に至らなかった指標は、現在の進捗度合いでは目標年次における数値目標の達成が難しいことを示している。各分野の状況は以下の表-1のとおりである。

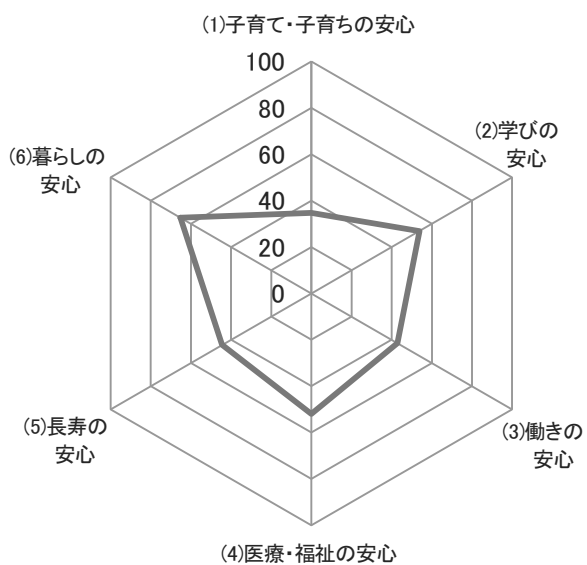
◇表-1：数値目標の達成に向けて順調に進捗する指標の割合

分野		指標数	2016年(度) 実績値 計測指標数 a※	参考年間目標 達成指標数 b	参考年間目標 達成指標割合 b/a
府民安心の再構築	(1)子育て・子育ての安心	24	24	9	38%
	(2)学びの安心	9	13	7	54%
	(3)働きの安心	13	17	6	35%
	(4)医療・福祉の安心	35	46	19	41%
	(5)長寿の安心	15	18	8	44%
	(6)暮らしの安心	45	49	32	65%
	小計	141	167	81	49%
地域共生の実現	(1)人権尊重	4	4	4	100%
	(2)地域力再生	6	6	4	67%
	(3)新たなコミュニティづくり	5	5	3	60%
	(4)男女共同参画	7	8	6	75%
	(5)ふるさと定住	11	10	6	60%
	小計	33	33	23	70%
京都力の発揮	(1)人づくり	12	12	5	42%
	(2)環境の「みやこ」	18	18	9	50%
	(3)文化創造	15	15	9	60%
	(4)産業革新・中小企業育成	50	49	30	61%
	(5)交流連帯	10	10	6	60%
	(6)希望に輝く地域づくり	—	—	—	—
	小計	105	104	59	57%
合計	279	304	163	54%	

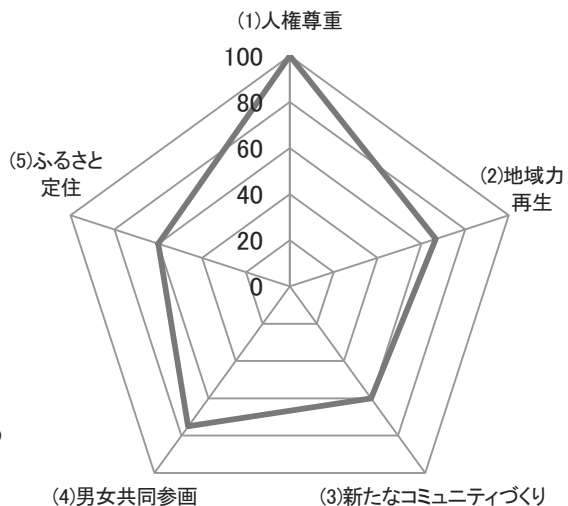
※ 1つの指標について、複数の参考年間目標を掲げているものは、目標毎にカウントしている。
 なお、実績を進捗率等の形で評価できない指標についてはカウントしていないため、毎年度の実績値計測指標数が同じではなく、参考年間目標達成指標割合の年度の単純比較はできない。

◇グラフ：数値目標の達成に向けて順調に進捗する指標の割合（表－１）

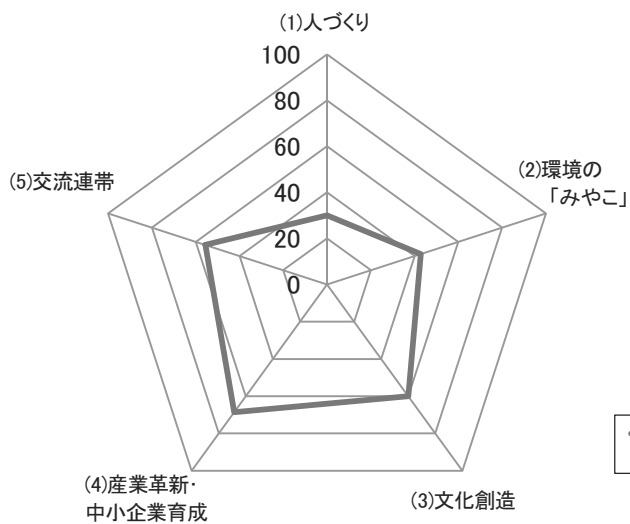
「府民安心の再構築」関連指標



「地域共生の実現」関連指標



「京都力の発揮」関連指標



— 参考年間目標達成指標割合
2016年度

(2) 数値目標の進捗状況

数値目標※を上回った指標 35%

※2019年3月までに達成をめざすもの

数値目標は、2019年3月までに達成をめざすものであり、計画期間（4年間）の2年目に当たる今回の調査時点において、既に数値目標を上回った（「減少」をめざす指標の場合は、数値目標を「下回った」）場合は、最終的な数値目標の達成に向けて想定以上のスピードで取組が進捗していることを示している。各分野の状況は以下の表－2のとおりである。

◇表－2：数値目標を上回った※¹指標の割合

分野		指標数	実績値 計測指標数 a ^{※2}	数値目標を上回った 指標数 b	数値目標を上回った 指標の割合 b/a
府民 安心の 再構築	(1)子育て・子育ての安心	24	24	4	17%
	(2)学びの安心	9	13	6	46%
	(3)働きの安心	13	17	3	18%
	(4)医療・福祉の安心	35	46	12	26%
	(5)長寿の安心	15	18	4	22%
	(6)暮らしの安心	45	49	24	49%
	小計	141	167	53	32%
地域 共生の 実現	(1)人権尊重	4	4	2	50%
	(2)地域力再生	6	6	1	17%
	(3)新たなコミュニティづくり	5	5	2	40%
	(4)男女共同参画	7	8	3	38%
	(5)ふるさと定住	11	10	3	30%
	小計	33	33	11	33%
京都 力の 発揮	(1)人づくり	12	12	2	17%
	(2)環境の「みやこ」	18	18	7	39%
	(3)文化創造	15	15	5	33%
	(4)産業革新・中小企業育成	50	49	23	47%
	(5)交流連帯	10	10	5	50%
	(6)希望に輝く地域づくり	—	—	—	—
	小計	105	104	42	40%
合計	279	304	106	35%	

※1 数値目標が「増加」をめざす場合は「上回った」、数値目標が「減少」をめざす場合は「下回った」指標をカウント

※2 1つの指標について、複数の数値目標を掲げているものは、目標毎にカウントしている。なお、実績を進捗率等の形で評価できない指標についてはカウントしていないため、毎年度の実績値計測指標数が同じではなく、数値目標達成指標割合の年度の単純比較はできない。

2 中期計画に基づく主な取組成果

中期計画に基づいて実施した主要施策・事業に係る 2016 年度の分野毎の主な取組成果は下記のとおりである。

(1) 府民安心の再構築

- 子育て医療費助成、第3子以降保育料無償化、高校生の修学支援など経済的負担の軽減をはじめ、8月には「きょうと子育てピアサポートセンター」を開設するなど、全国トップクラスの子育て・教育環境づくりを推進
- 京都ジョブパークを拠点として、相談から就職、職場への定着までワンストップの就業支援を総合的に推進した結果、内定者数が 12,432 人と過去最高を更新
- 障害者スポーツの振興を図り、7月には「サン・アビリティーズ城陽」が、東京パラリンピックに向けたパワーリフティング競技のナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に指定
- 緊急的・総合的な治水対策をはじめ、地震・津波対策など総合防災・減災対策を着実に推進し、防災基盤を強化
- 府民の安心・安全の確保と利便性の向上、観光振興など複合的な機能を持つ「京都駅前運転免許更新センター」及び「京都駅前地域防犯ステーション」が、民間活力を導入する手法で8月に開所

(2) 地域共生の実現

- 労働局、府、京都市、経済団体が一体となり、女性の活躍促進のための拠点「京都ウィメンズベース」を8月に開設
- 京都移住コンシェルジュによる移住相談などきめ細やかな移住サポートにより、前年度比 13%増となる 326 人の移住を実現

(3) 京都力の発揮

- 合宿しながら近隣大学等と協働で医科学的なトレーニングができる全国初の施設「京都トレーニングセンター」が、7月にオープン（府内産木材を使用した府内最大の木造公共建築物）
- 京都関係資料の収集・保存・公開をはじめ、府立大学と連携した京都学の研究など、京都文化の新たな交流・発信拠点となる「京都学・歴史館」が12月にオープン（2017年4月に全面オープン）
- 「海の京都 DMO」「森の京都 DMO」「お茶の京都 DMO」の設立や、全国育樹祭の開催、「もうひとつの京都」事業など観光地域づくりの展開により、観光消費額約 1 兆 1,447 億円、外国人宿泊客数約 326 万人といずれも過去最高を記録したほか、京都舞鶴港へのクルーズ船寄港回数も 17 回と前年度の倍以上に増加
- 中小企業応援隊による 55,190 件の訪問をはじめ、きめ細やかな伴走支援の展開により、倒産件数は 2010 年比 52.5%減の 227 件まで減少
- 10月の山陰近畿自動車道（野田川大宮道路）開通、2017年4月の新名神高速道路（城陽 JCT・IC－八幡京田辺 JCT・IC）開通等、順調に交流基盤整備が進捗